

＜事業概要＞

調布市武者小路実篤記念館は、昭和 51 年、武者小路家より寄贈された愛蔵の美術品、遺品や図書などをもとに、文学、美術、演劇、思想など幅広い分野にわたり活躍した武者小路実篤の生涯を偲ぶとともに、その業績を顕彰するため、実篤生誕 100 年にあたる年、実篤公園（旧実篤邸）に隣接して、昭和 60 年 10 月開館した。

調布市武者小路実篤記念館運営事業団は、平成 4 年 1 月、調布市武者小路実篤記念館の事業運営を通して、事業の円滑化、効率化及び継続性を図り、武者小路実篤の業績を顕彰することにより、広く市民文化の向上をはかることを目的として設立した。

事業は、次の方針をもとに運営する。

（1） 展示室は、「美」・「愛」・「真」・「道」・「和」など、テーマ別にゾーン分けして展示構成し、年間を通じて常設展示とせず、幅広い武者小路実篤の活動がわかりやすく理解されるよう、多角的に紹介してゆく。

（2） 武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集・保存・調査研究などに努めるとともに、閲覧室を中心に、広く一般に開かれた武者小路実篤に関する＜情報センター＞としての役割を果たしてゆく。

（3） 「武者小路実篤を核とした特色ある事業」として、幅広い世代に対し良質な普及事業を提供し、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場として、また市民の誇りとなるような事業を展開してゆく。

事業内容

（1） 展示事業

* 特別展（年2回）、企画展（年6回）、移動展等の開催

（2） 普及事業

* 講演会、講座、朗読会等の開催

* 学校教育との連携事業、子供向け事業の実施

* 生涯学習活動への協力（展示解説、記念館・公園案内など）

* 協力ボランティア活動

*印刷物の編集（特別展パンフレット、館報など）

*広報活動、ホームページの運営

*関連機関への事業協力

（3）収集・保存事業

*作品・資料の収集、整理作業

*収蔵作品・資料等の保存作業

（4）閲覧・情報公開事業

*閲覧・レファレンス業務

*収蔵品データベースの充実、運用

*情報提供、映像視聴システムの運用

（5）調査・研究事業

*「武者小路実篤、白樺、新しき村」の情報センターとしての役割を担う、
収蔵品、武者小路実篤関連の調査・研究及び情報の収集

（6）その他事業

*友の会の運営（事務局を担当）

*博物館学芸員実習の受入れ

*写真貸出・特別撮影

（7）施設関係

*窓口業務、休憩施設の運営

*実篤記念館、実篤公園の日常管理への協力